

〈提案型協働事業 検証シート〉

協働事業の概要	事業名称	おおぞら広場バリアフリー化プロジェクト		
	団体名	出会うの島(豆島)プロジェクトチーム	市所管課	道路維持担当
	事業の趣旨・内容	「おおぞら広場」は景観的に優れた市内有数の広場として市民に広く愛されているが、舗装されていないため、ハンディキャップのある市民が利用できるように簡易な通路を市民ボランティアの手によって敷設する。		
	協働における行政の役割	供用後に発生した事故対応、使用材料の確認、工事の許可、点検・大幅な補修 等		
協働における市民の役割	施工中に発生した事故対応、設計及び材料の選定・購入等、工事にかかる許可申請、ボランティア募集、工事実施、日常管理、軽微な補修、清掃除草 等			

市民と行政のこれまでの動き

年月	できごと
平成25年 5月	・補助金交付決定・協定書締結
7月	・敷設工事実施
平成26年 3月	終了

評価会議における意見など

1	<p>・自分たちの住んでいる地域を何とか整備したい、そして他の人にも発信したい、そこへ資金面だけでなく市を巻き込んで取り組もう、という発想がものすごくよい。これからどういう形で継続していけるか、次々守る人が出てくるか、である。</p>
2	<p>・施設整備後にイベントを行い、昔の子どもの遊びをみんなが嬉々として楽しんでやっていることがおもしろい。行事が重なり子どもは来ずに高齢男性ばかりだったということだが、介護予防になってよい。定年退職後男性の居場所づくりに成功しているの、今後も男性の居場所づくりについて調べて、取り組んでほしい。</p>
3	<p>・模範的事業である。</p>

所管課意見

評価会議からの提案事項	意見
<p>・事業のスキームを考えると、市民の力で公共設備のグレードが上がり、市がそれをフォローしたという構図である。今回は、提案型協働事業という制度の中で実施したものであるが、制度で採択されていない地域において市民が独自で資金を集めて同様に施設整備に取り組もうとする場合、市は同じように認めてくれると景観がよくなる。</p>	<p>道路の維持管理に支障をきたさない程度のもので、別途個別に相談していただければ、可能な範囲で支援させていただく。</p>

市 総括

<p>事業の目指すところや団体と市との役割分担が明確であったことから、スムーズに成果をあげることができた本制度における模範的事業である。</p>
--

以上